

■データで探る東北大

全日本大学選手権の2回戦、北海学園大―東北大戦が11月16日（日）正午、宮城・角田市営陸上競技場でキックオフする。本道勢として初の全日本選手権勝利で勢いに乗る北海学園大が、ベスト8目指して強豪の東北大に挑む。東北学生リーグ優勝決定戦となった東北大―東北学院大戦のスタッツから、東北大の注目選手を探ってみる。

今年の東北学生リーグは8校をA、Bの2ブロックに分けてリーグ戦を行い、Aブロック1位の東北大とBブロック1位の東北学院大が11月3日、優勝決定戦を行った。試合は東北大が60―0で圧勝し、14年連続の優勝を飾った。

東北大は第1Q、WR/K横塚伸太朗（2年）のFGで先制。第2Qは、QB坂西亜玲（3年）からWR/K横塚へのパス、RB植村祐斗（4年）のラン、LB長尾晃佑（3年）のファンブルリターンでTDを奪った。後半も猛攻が続いた。第3Qは、QB水野壮哉（3年）がRB牧野凜士（3年）とWR杉田景（2年）へ2本のTDパス。第4Qは、LB/K小川雅史のFG、QB坂西からWR/K横塚へのパス、RB小金丸剛志（3年）の2TDランで加点了。

東北大の獲得ヤードはランが30回で150ヤード、パスが12回で218ヤードの合計368ヤード。ランで3TD、パスで4TD、ファンブルリターンで1TD、FG2回の得点だった。

個人記録を見ると、ランはRB植村が7回で47ヤード、1TD、RB山下倫生（2年）が9回で47ヤード、RB小金丸が5回で27ヤード、2TDと続く。パスレシーブは、WR牧野が2回捕球で120ヤード、1TD、WR杉田が6回捕球で54ヤード、1TD。WR/K横塚が2回で22ヤード、2TDだった。QBは坂西が11回投げて5回成功、37ヤード、1TD。水野は16回投げて6回成功、162ヤード、2TDだった。

RB小金丸の勝負強い走りとQB坂西―WR横塚のホットライン、QB水野のロング弾に要注意だ。

守備では6QBサックが目立つ。DL木村和弥（3年）とDL家木誉史（2年）が2回ずつ、DL吉川大輝（4年）とDL林晴蓮（1年）が1回ずつ。パスがお家芸の北海学園大だけに、OL陣の奮起が必要だ。

北海学園大は5月25日に東北大と交流戦を行い、25―21で勝利している。福井県立大戦で発揮した粘り強さに、相性の良さも加えて、2回戦突破とベスト8入りに期待が膨らむ。

（広報委員 塚田博）